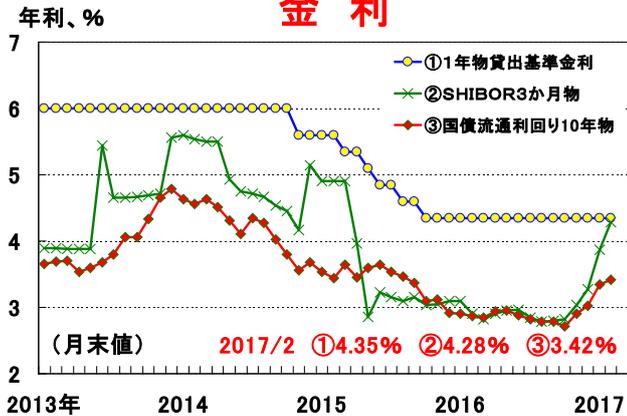


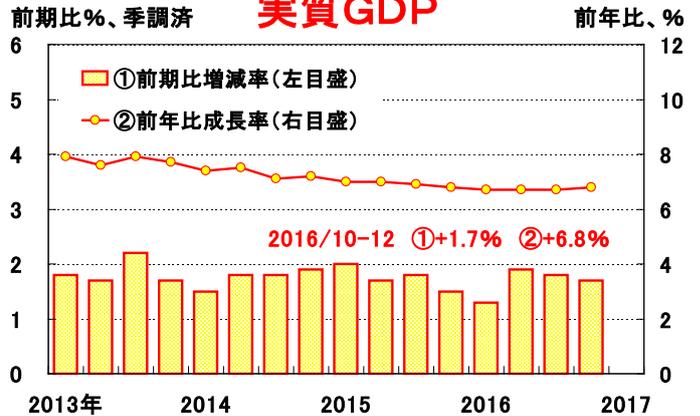
# グラフで見る中国経済 2017年3月号(No. 94)

中国景気は緩やかな回復基調にある。まず、2017年の春節期間(1月27日～2月2日)の小売売上高は前年比+11.4%と前年の春節期間の伸び(同+11.2%)を若干上回っており、この点が足元の個人消費の底堅さを示している。また、1月の通関輸出は前年比+7.9%と10か月ぶりの増加に転じた。ただ、これには前年に大きく落ち込んだ反動もあり、現時点で輸出が回復に向かっていると判断するのは時期尚早である。2月の製造業PMIは51.7(中立水準は50)と、「生産」や「新規受注」の堅調な増加を受けて、前月の51.0から上向いている。

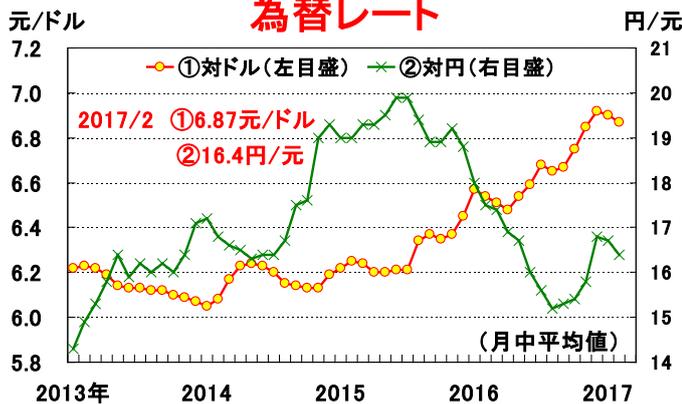
## 金利



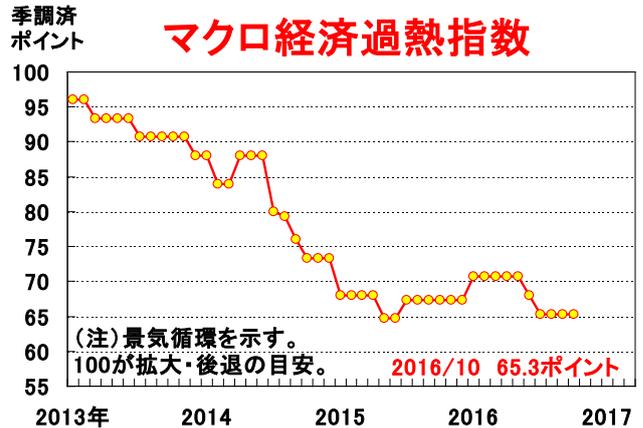
## 実質GDP



## 為替レート



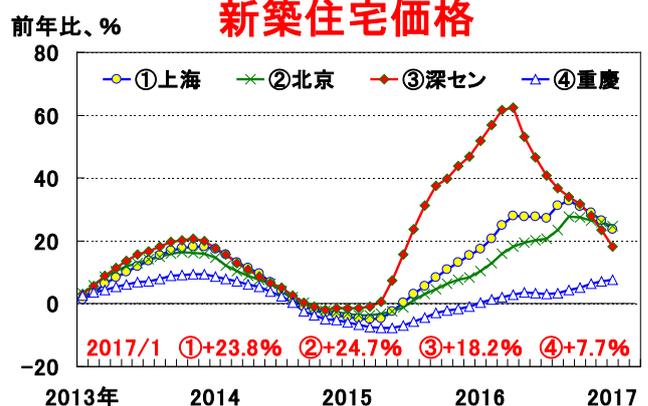
## マクロ経済過熱指数



## 上海総合指数(株価)



## 新築住宅価格

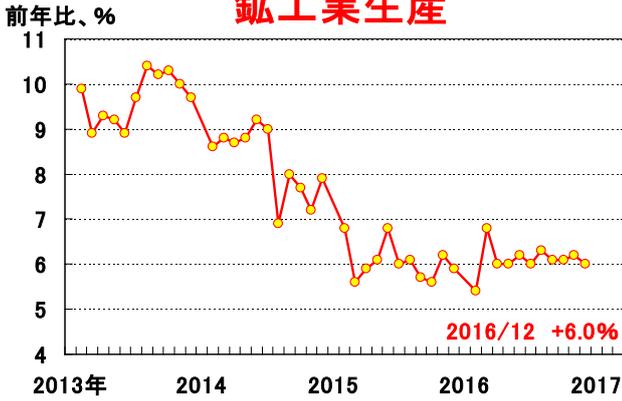


【今月のトピック:人民銀、提示金利引き上げ】1月中旬以降、中国人民銀行(中央銀行)は金融機関に資金を供給する際の提示金利を相次いで引き上げている。24日には中期貸出制度(MLF)による市中銀行への貸出金利を0.1%引き上げた。次に春節連休明け(2月3日)にも、人民銀行が売却条件付き債券購入(リバースレポ)を通じて資金を供給する際の提示金利を引き上げ、また常備貸出制度(SLF)による市中銀行への貸出金利を引き上げた。これらの提示金利の引き上げからは、住宅価格高騰の抑制や過度な元安の阻止という中国当局の意図がうかがえる。

(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

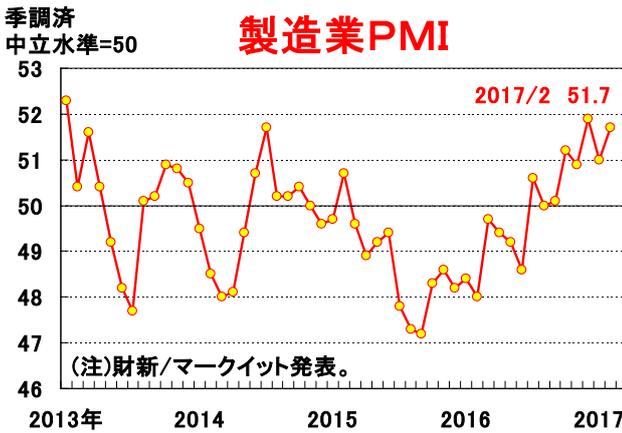
### 鉱工業生産



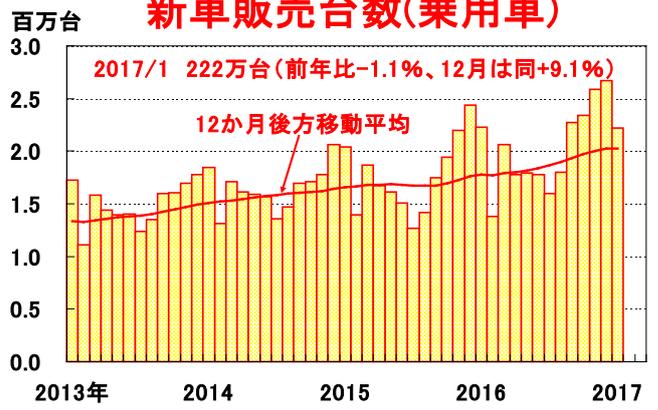
### 小売売上高



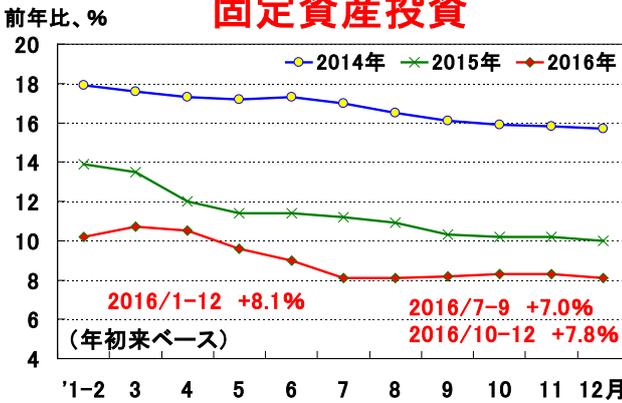
### 製造業PMI



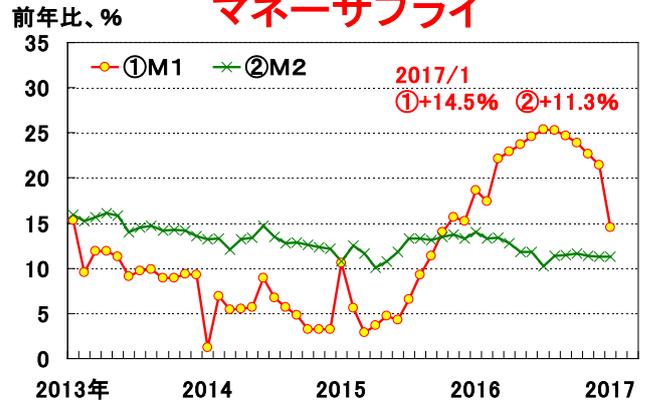
### 新車販売台数(乗用車)



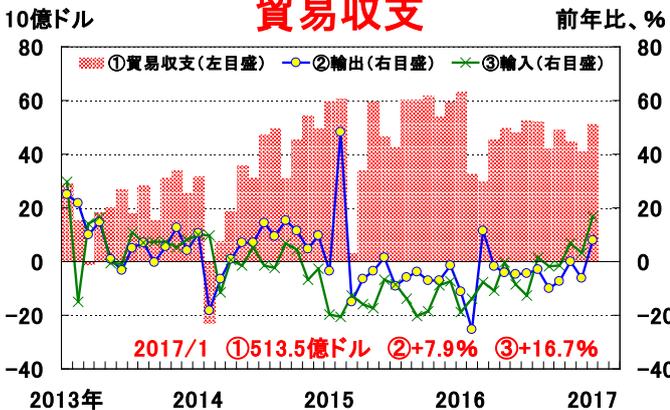
### 固定資産投資



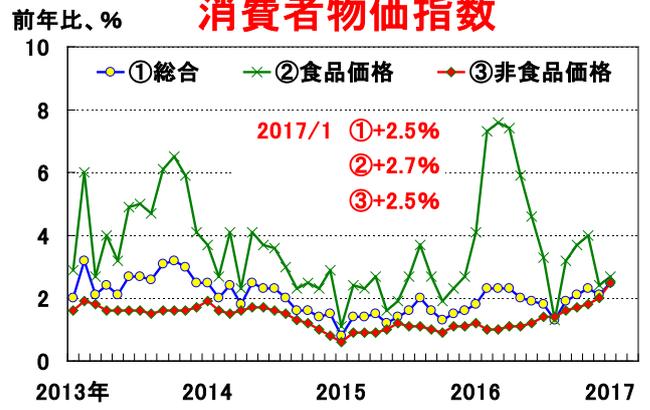
### マネーサプライ



### 貿易収支



### 消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国汽车工业协会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。